

新技術・新製品・新事業特集号の発刊にあたって

技術開発本部

副本部長 伊 東 章 雄

国際情勢や経済、産業、技術の視点から 2014 年を振り返るとさまざまな出来事がありました。たとえば、国際的には、欧州・中東での地政学的なリスク増大、シェール革命以降の資源・エネルギー分野での勢力地図の変化と原油価格の急落、国内的には、日本経済のデフレ脱却の兆しと為替の円高から円安への転換による輸出競争力の改善です。一方、地球環境では、地球温暖化の加速と世界的な異常気象や大地震、火山噴火などの災害の増加がありました。私たちは、もしかしたら大きな歴史的な転換点に差し掛かっているかもしれません。



このように、私たちを取り巻く環境変化を切り拓くためには、大きなイノベーションが求められており、ビッグデータの活用や水素社会の実現、Industrie 4.0、ロボット活用、iPS 細胞関連など、新たな技術革新の動きが出ています。

ところで、皆さまは、バタフライ効果をご存じでしょうか？複雑なシステムにおいては、わずかな動きや変化（蝶の羽ばたき）が巡り巡って大きな変化を引き起こすとされています。IHI グループは「技術をもって社会の発展に貢献する」ことを経営の理念としており、この変革のうねりを「技術力」で切り拓かなくてはなりません。このイノベーションを進めるためには、皆で蝶の羽ばたきである時代・技術の変化を感じ、つなぎ、行動し、改善するスパイラルループを回すことで増幅することが重要です。また、多様な人材を活用する、いわゆるダイバーシティを取り入れることで、さまざまな知恵を入れ込むことができ、より普遍的なものになると思います。IHI では、お客さまと自由にアイデアを発想できるように工夫し、互いにより良い未来に向けて新しいビジネスを共創する場として、2014 年 10 月、横浜事業所に「つなぐラボ」を開設しました。お客さまと「つなぐラボ」を出発点に変革の海に漕ぎ出していきたいと思えます。

今年、2015 年の干支は「未（ひつじ）」です。未は『漢書』や『説文解字』によると「植物が鬱蒼と茂って暗く覆うこと」や「果実が熟して滋味が生じた状態を表している」とされます。2015 年はグループ経営方針 2013 の仕上げの年です。その年を迎え、本号は新技術・新製品・新事業の特集号として、これから大きく茂っていく技術の芽、また熟した滋味豊かな果実をご紹介します。

例年 1 号は、新技術・新製品特集としてお届けして参りましたが、本号では特に、オープンイノベーションによる新事業開発についてもご紹介しております。また、その具体的な成果として藻からバイオ燃料をつくる事業や、農業情報サービス事業に関する取り組みを記事にしました。もちろん、これまでどおり各分野から最新の技術・製品も掲載しております。

私たちは、世の中の変化を感じ取り、それに技術革新で応え、新技術・新製品・新事業として世に発信することで、この変革のうねりを伝えたいと思えます。本号でその一端を感じ取っていただけると幸甚です。